

切手を集める人のために

(6)

堀内 恵彦

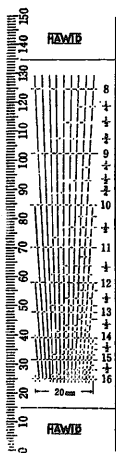


切手を整理・保存するための用具(3)

5. ルーベ……虫メガネのことです。切手には同じ図案で印刷様式が異なったり印刷の時期が違ったりする場合があります。これらの相違はほんのわずかな差であることが多いのでルーベで調べます。倍率は5倍くらいのもので十分ですが視野が広くひずみの少ないものを用いることが大切です。高級品は焦点の調節が可能なものもあります。

6. 目打ちゲージ……ほとんどの切手にはその周囲に切り離しが便利のようにアナがあげられそれが離されるとギザギザができます。このギザギザを目打ちと呼びます。この目打ちは切手の真偽や価値を決定するのに重要な役割をする場合があります。この計り方は一片の全部を計るのでなく20mmの長さのなかにある目打ちの数で表わします。

目打ゲージは①紙に印刷されたもの ②金属版に印刷あるいは彫られたもの ③透明プラスチック(フィルム)を用いたものなどがあります。紙に印刷されたものは一般的に寸法の伸縮が多くあまりよくありません。最近では透明



目打ちゲージ



なゲージが歓迎されます。それはアルバムに整理された切手の上から当てて使用することができるからです。ゲージの様式もいろいろ作られていますが要するに使いやすいものがよいわけです。

切手にはアナのあいた目打のほか刃物で圧して切れ目だけを付けるものがあります。これをルーレットと呼びます。ルーレットの最も一般的なのは破線ルーレットでよくシールなどに用いられております。

7. カタログ……いままでに出された切手を整理してどんなものがあるかまとめてあるいわば切手の辞典です。日本切手だけのものも数種でありますが外国では全世界の切手を対象にしたものもあります。スコット(米) ミンカス(米) ギボンス(英) ミッヘル(独) イベール(仏)などは有名で権威あるものです。このほかに国別トピカル(花・船・スポーツなど)切手を対象にしたものもあります。いずれもはじめから手元におく事はむずかしいでしょうから人にみせてもらったりして利用しましょう。

以上で切手の整理・保存のための用具のおおよそをあげましたがほかにスカシを調べるための「スカシ検出器」とか最近では郵便物処理の機械化に伴って特殊な光線(主として紫外線を用いる)に反応する切手が出されこれらは肉眼では区別できないものがあるのでその検出器なども必要ときがあります。これらについてはまたおりにふれて書きましょう。

(筆者は元所員 現科学技術情報センター)

(23頁からつづく)

中津軽一北秋田地域 太平山周縁一和賀地域および秋田・山形県境一北西宮城地域に集中しNW—SEの分布の方向性を示している。もう少しこまかくみるとこれら地域でもある特定の地区に特に多い。たとえば太平山周縁一和賀地域についてみると阿仁鉱山付近 宮田又・荒川鉱山付近 横黒線沿線付近に特に多く集中している。これら鉱脈型鉱床の集中している地域は西黒沢期 女川期 船川期を通じ堆積盆の周縁または微沈降区(すなわち相対的に隆起地区)であって高アルミナ玄武岩系(d型)およびカルク・アルカリ岩系の火山岩類が特に多い傾向を示しとくに上記岩系の流紋岩熔岩が多量に噴出している。

4. 総括

以上をさらに要約すると次のように総括される。

門前期 台島期および西黒沢期は1部地域での造構造運動がみられるが全般的にみると次第に沈降してい

る時期であってアルカリ岩系 高アルミナ玄武岩系(b型 c型)およびソレライト岩系の火山岩類の火成活動で特徴づけられる。なおこまかくみると西黒沢期後半には女川期と船川期に特徴的な岩系の火山岩類が急に多くなる。女川期と船川期は最大海浸もしくは最大沈降の時期であり同時に隆起運動が行なわれ広域にわたり本格的な造構造運動が行なわれた時期である。女川期と船川期の火成活動は高アルミナ玄武岩系(d型)とカルク・アルカリ岩系の火山岩類および第三紀花崗岩類で特徴づけられている。金属鉱床を生成した鉱化作用の時期は西黒沢期後半から船川期までと考えられ金属鉱床はこの時期の酸性火山活動の著しい堆積盆の周縁部もしくは堆積盆内の微沈降区換言すると相対的隆起地区で生成された。黒鉱々床の生成時期は西黒沢期後半から女川期であり大部分のものは西黒沢期後半である。鉱脈型鉱床の生成時期は西黒沢期後半から船川期であると考えられ鉱脈型鉱床は黒鉱々床より遅くまで生成された。

(筆者は地質部)